

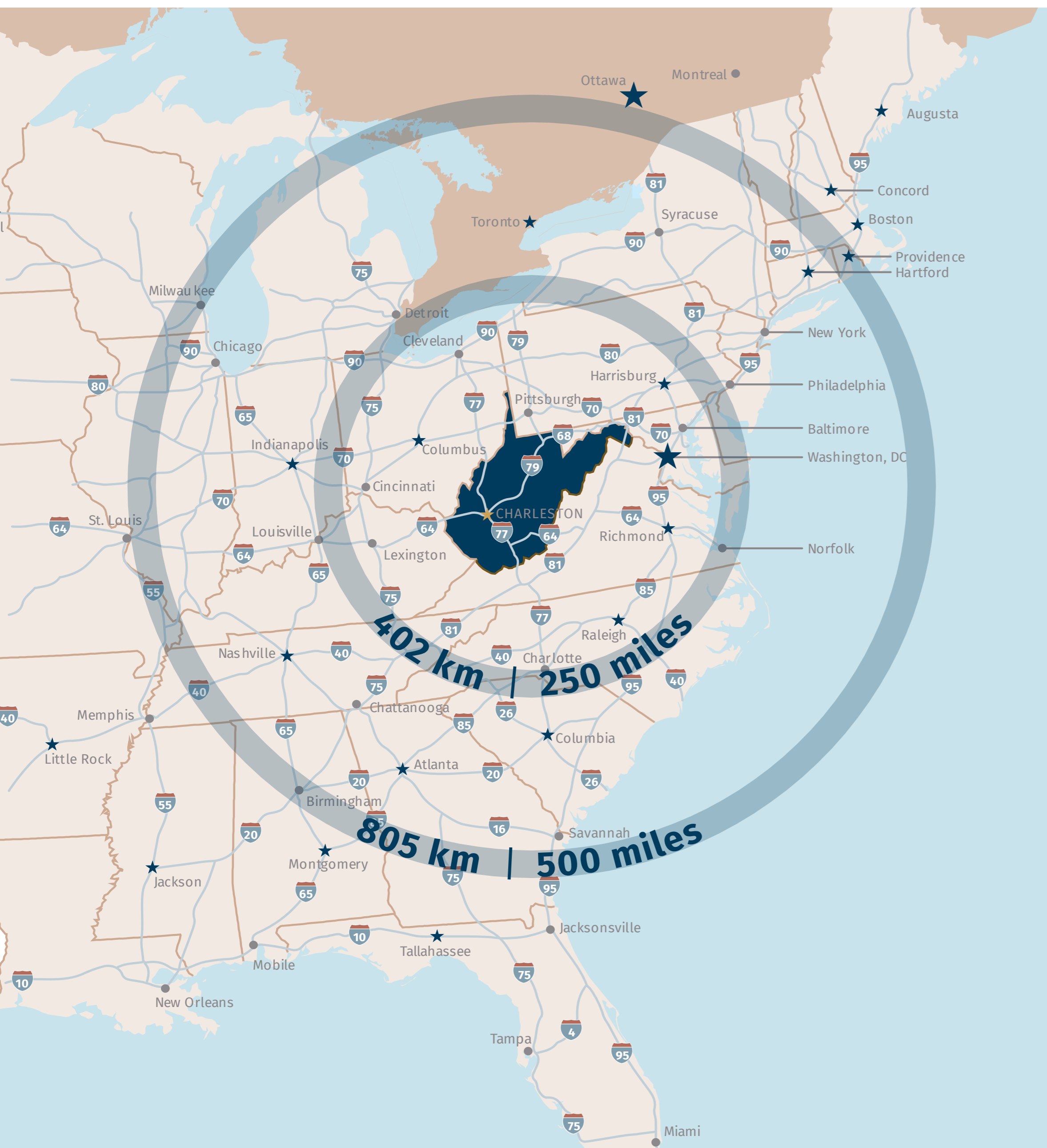


Welcome to
ウエストバーージニア

目次

- 1. ウェストバージニア州の 基本情報
- 2. 州政府のサービス支援 進出まで
- 3. 州政府のサービス支援 進出後
- 4. 特徴 ～ビジネス環境～
- 5. 強み
 - 5-1. 製造業に有利なスキーム
 - 5-2. 労働者確保・訓練
 - 5-3. 治安
 - 5-4. 物価
- 6. 日系企業
- 7. 産業別進出・拡張数割合
- 8. ウェストバージニア州を選んだ理由 ～お客様の声～ 2022年から現在

1. ウェストバージニア州の基本情報



- 1863年6月20日に第35番目の州となる
- 人口：約189万人
- 面積：62,759平方キロメートル（東北6県とほぼ同じ広さ）
- 州知事：パトリック・モリッシー（共）
- 主な産業：化学・自動車部品・鉄鋼・金属加工・航空宇宙・エネルギー・建材・バッテリー・IT
- 特徴：
 - 天然資源や水資源が豊富
 - 発電事業が盛んで豊富な電力資源
 - 製造業が多い
 - 米国石油化学産業発祥の地
 - 四季があり、梅雨は無い
 - 河川輸送が発達
 - 米国人口50%とカナダ人口1/3に1日でアクセス
 - アパラチアン水素ハブ（本部Morgantown市）
 - 自然災害少ない

2. 州政府のサービス支援 進出まで

お問い合わせ

ヒアリング

情報提供

現地視察

決定

米国ウエスト
バージニア州政府
日本代表事務所

info@westvirginia.or.jp

052-953-9798

お客様のご要望をお伺いし、最適な方法をご提案します

州政府なので
ご相談やサービスは全て無料です

ビジネス環境、工場用地・倉庫・オフィス物件情報、必要な環境規制・許認可などウエストバージニア州の投資情報をご提供します

現場視察、州政府・郡経済開発公社等関係各所との面談で、インセンティブ交渉

州政府や郡経済開発公社が
全面サポート

人材採用
トレーニング
税金相談
免税相談
現地でのお困りごとの相談など

3. 州政府のサービス支援 進出後

現場支援



Location
Services

労働力支援



Workforce
Training

財政支援



Financial
Assistance

生活支援



Lifestyle
Assistance

輸出サポート



Exporting
Assistance

改装

設備

許認可

人材

トレーニング

税制優遇

インフラ

財政支援

サタデースクール

住居探し

運転免許

輸出相談

展示会

助成金



WEST
VIRGINIA

Economic Development

4. 特徴 ～ビジネス環境～

- ✓ 労働者の定着率の良さが全米第1位 (2021年アメリカ国勢調査)
- ✓ 工業ガス料金が全米で2番目に安い (米国エネルギー情報局2020年12月調査)
- ✓ 製造業向きの地理的条件を備えた抜群のロケーション
- ✓ 自然災害が少ない
- ✓ Right-to-Work State (労働者が組合加入を強制されない州)



全米第5位
最も企業生存率が
高い州

Trademark Engine analysis of most recent
BLS report, 2023



全米第1位
製造業の離職率
の低さ

アメリカ国勢調査 2021



全米第2位
労働者災害保険額の
低さ

OREGON CONSUMER AND BUSINESS
SERVICES, 2022



法人税の1つであ
るビジネスフラ
ンチャイズ税を
撤廃

5-1. 強み ～製造業に有利なスキーム～



①

低い工業電気料金



④

少ない自然災害
(竜巻・ハリケーン・地震)



②

定着率全米第1位



⑤

戦略的なロケーション
(主要市場へのアクセス)



③

高い危機管理能力
(労災保険額低さ全米第2位)



⑥

製造業に手厚い支援



5-2. 強み ～労働者確保・訓練～

- バーチャルジョブフェア

2022年10月5日～現在 / 初回実績:登録者200人⇒50人希望の企業へ

- 求人情報サイトJobcase.comとタイアップ

州政府の契約はウエストバージニア州が初めて

- Learn & Earnプログラム

企業側のメリット: 自社で必要なスキルを大学で習得済のインターン学生が来てくれる。インターンの時給50%をWVCTCSの助成金でまかなえる。

学生側のメリット: 通っている大学内で実践的な経験を積み、スキルを習得できる。報酬を得ながらインターンさせてもらえる。

- Apprenticeship(見習い制度)の積極的な活用

州内活動中の実習生数 5,423人 / 州別人口当たり制度利用数 全米8位から5位へ増

- シニアや退役軍人再雇用

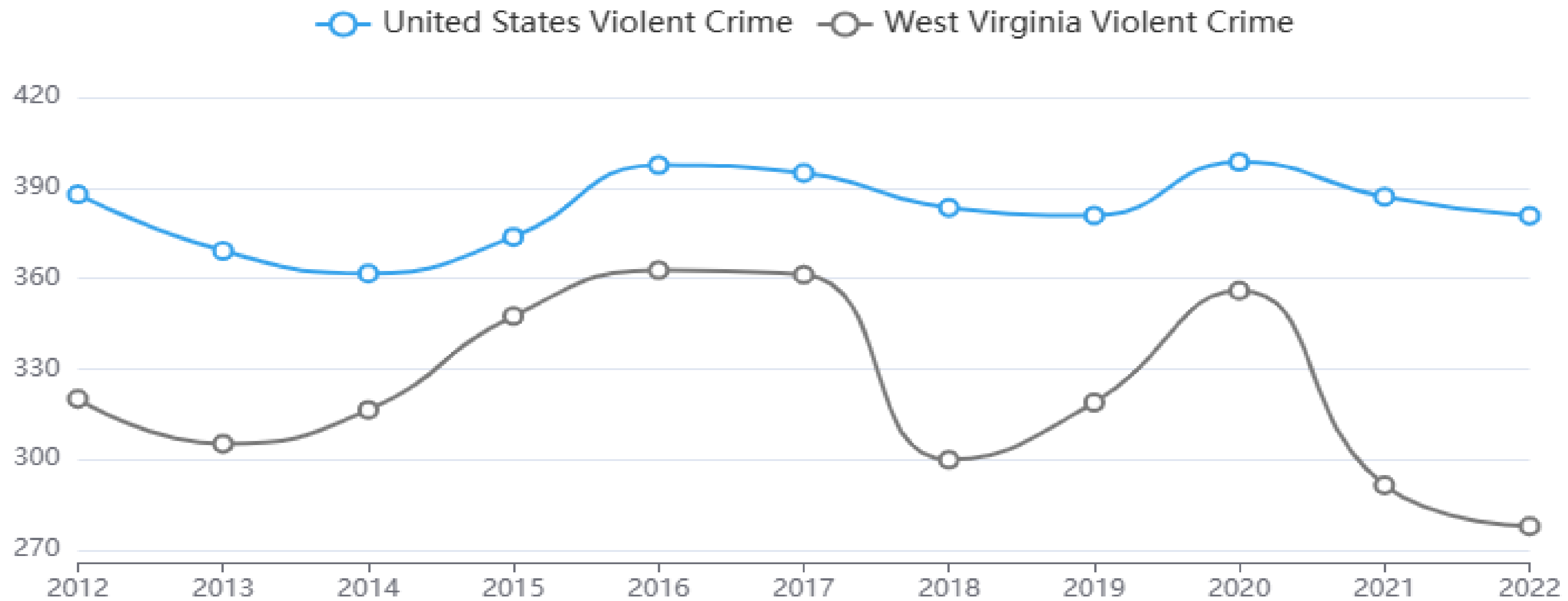
即戦力確保や委託生産が可能



5-3. 強み ～治安～

凶悪犯罪が少ない 治安良し

Rate of Violent Crime Offenses by Population



5-4. 強み ~物価~

持ち家率全米トップ・暮らしやすい

順位	州名	持ち家率	平均年収
1	ウエストバージニア	77%	\$52,585
2	ミシシッピ	76%	\$48,110
3	デラウェア	75.7%	\$65,392
4	メイン	75.5%	\$63,117
5	ワイオミング	74.5	\$77,837

戸建て販売価格比

WV州 \$20万以下

米国中央値 \$42万800

サンフランシスコ \$129万9,639

6. 日系企業

日系企業データ：総投資額:US\$31億 雇用総数: 5,137人

最初の進出日系企業は1986年の日新製鋼様（現日本製鉄様）

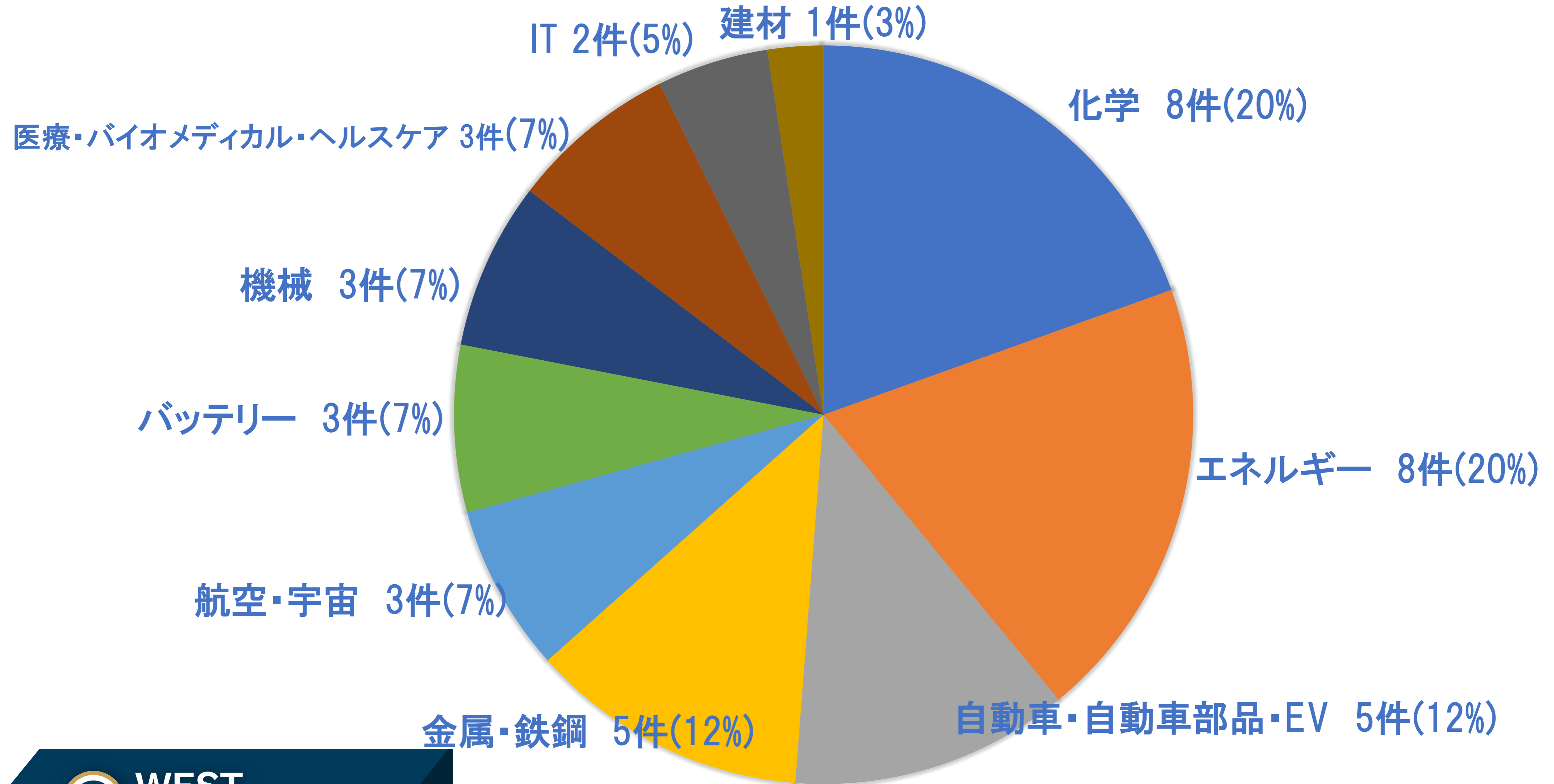
日本含む外資系企業データ：32か国から146社が30,000人雇用



WEST
VIRGINIA

Economic Development

7. 産業別進出・拡張数割合 (2022年～2024年)



8-1. ウェストバージニア州を選んだ理由 ～お客様の声～ 2022年から2024年

- **優れた物流ロケーション:**
 - 河川輸送が可能で、中西部や北東部の顧客への供給力が高い。
 - I-81号線やWinchester(VA)の鉄道駅にも遠くなく、物流が便利。
- **労働力の質の高さ:**
 - 意思が強く熱意のある労働者が多く、労働者の確保が容易。
 - 石炭産業で培った労働安全の知識がバッテリー製造にも役立つ。
- **教育機関との連携:**
 - 州立ウェストバージニア大学の技術者人材が容易に得られる。
 - モーガンタウンに位置し、大学の能力を活用できる。
- **インフラの利便性:**
 - ボルチモア港への距離が近く、今後建設予定のインフラも充実。
- **政府のサポート:**
 - 州政府のスピーディーな対応により、製造開始が迅速に進行。
 - 州の立法と行政が迅速かつ効率的にサポート。

8-2. ウェストバージニア州を選んだ理由 ～お客様の声～ 2022年から2024年

- **多様な産業エコシステム:**
 - 。エネルギーと化学生産の最前線に位置し、豊富な天然資源と既存のインフラが整っている。
 - 。天然ガスが豊富で、持続可能な事業継続が実現可能。
- **戦略的立地:**
 - 。米国の工業の中心地の一部であり、交通の要所でもある。
 - 。米国中西部、中大西洋部、東北部の主要巨大市場へのアクセスが良好。
- **ビジネスフレンドリーな環境:**
 - 。快適なビジネス環境と熟練工の確保が容易。
 - 。歴史的に製鉄業に適した地形インフラが整い、鉄から優れた製品を作るノウハウがある。
- **顧客基盤の強さ:**
 - 。民間企業と政府機関に多くの顧客を持ち、州都ワシントンDCにも近い。
 - 。アメリカ中西部の顧客基盤に近く、化学産業向きの工業団地内に希望に合う建屋が見つかる。
- **再生可能エネルギーへの取り組み:**
 - 。バークシャーハザウェイエナジー社の再生可能エネルギーマイクログリッド工業団地への電力供給が決定。

お問い合わせは

米国ウエストバージニア州政府
日本代表事務所

名古屋市中区錦3-25-11
日生村瀬ビル7階

052-953-9798

info@westvirginia.or.jp

<https://westvirginia.or.jp>

